

ごあいさつ

JR北海道グループは、北海道の暮らしや産業、観光を支える公共交通機関として、地域の皆様とともに歩んでまいりました。日頃より当社グループをご利用いただいているお客様をはじめ、地域、自治体、関係機関の皆様から賜っております温かいご理解とご支援に、心より感謝申し上げます。

2026年度は、「JR北海道グループ中期経営計画2026」及び「安全計画2026」の最終年度にあたります。同時に、次期中期経営計画の策定を見据え、当社グループの将来像を描く大切な節目の年でもあります。人口減少や少子高齢化の進行、自然災害の激甚化など、北海道を取り巻く環境は大きく変化していますが、私たちはこうした変化を乗り越え、持続的な成長と地域への貢献を実現していかなければなりません。

その前提となるのが、安全の確保です。安全は鉄道事業の根幹であり、すべての事業活動の基盤です。当社では、これまでの事故や事象を真摯に受け止め、その反省と教訓を風化させることなく、安全性向上に取り組んでまいりました。とりわけ、「報告から始まる安全」を徹底し、一人ひとりの気づきや懸念を組織全体で共有しながら改善につなげる安全文化の定着を進めています。加えて、安全教育や監査機能の充実を図るとともに、豪雪や大雨など自然災害への対応力を高め、安全・安定輸送の確保に全力を尽くしてまいります。

一方で、当社の経営における最大の課題が、当社単独では維持困難な線区への対応です。本年度は黄8線区の抜本的改善方策を取りまとめる重要な局面を迎えます。地域公共交通を取り巻く環境が大きく変化するなか、将来にわたり地域の移動手段を維持していくためには、地域や自治体の皆様との対話と協働が不可欠です。私たちは地域の実情や将来像を共有しながら、持続可能な交通体系の構築に向けて誠実に議論を重ねてまいります。

こうした課題に向き合う一方で、未来に向けた挑戦も加速させていきます。北海道の観光需要は引き続き高い水準にあり、とりわけ拡大するインバウンド需要は大きな成長機会です。札幌圏や新千歳空港アクセスの輸送力強化に取り組むとともに、新たな観光列車「赤い星」「青い星」の運行開始に向けた準備を進め、鉄道だからこそ提供できる北海道ならではの魅力と感動を国内外へ発信してまいります。

また、当社事業を支える経営基盤の強化に向けて、開発事業の拡大、DXの推進、カーボンニュートラルへの対応、人材の確保と育成など、事業構造の変革にも取り組んでいます。変化の激しい時代においても、お客様や地域から選ばれ続ける企業グループとなるため、新たな価値の創造に挑戦してまいります。

北海道新幹線札幌延伸については、開業時期の見直しという状況にありますが、その意義が揺らぐことはありません。北海道の交流人口拡大や地域経済の発展を支える重要なプロジェクトとして、関係機関と連携しながら、営業主体として着実に準備を進めてまいります。

中期経営計画2026の最終年度となる本年度は、これまでの歩みを確かな成果へと結実させるとともに、その先の新たな成長への第一歩を踏み出す一年です。JR北海道グループはこれからも安全を最優先に、地域とともに歩み、北海道の未来づくりに挑戦し続けます。皆様への感謝の気持ちを胸に、信頼される企業グループを目指してまいりますので、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 綿貫 泰之

代表取締役会長
島田 修

代表取締役社長
綿貫 泰之

こあいさつ	1
経営計画	
長期経営ビジョン・中期経営計画の推進	3
安全の再生	
当社が発生させた一連の事故・事象	7
当社が2024年度に発生させた事象	8
JR北海道 安全の再生／安全計画2026	9
人材確保・社員教育・コンプライアンスの徹底	
人材の確保	11
社員教育／コンプライアンスの徹底	12
鉄道環境の変化	
JR北海道発足後35年の経過	13
持続可能な交通体系の構築に向けた取り組み	17
激甚化する自然災害への対策	
冬期間における安全で安定した輸送確保の取り組み	21
北海道新幹線	
北海道新幹線の概要	22
北海道新幹線札幌開業時期の見通しと今後の課題	23
北海道新幹線固有のコストと特殊性	24
北海道新幹線の冬期対策	26
青函トンネルの防災・避難誘導設備	27
並行在来線(函館～長万部～小樽)の概要	28
北海道新幹線の営業施策	29
札幌駅部の新幹線工事	30
駅周辺開発	
駅周辺開発の取り組み	31
札幌駅前再開発について	32
開発事業	
開発事業の取り組み	33
新たな事業領域への挑戦	35
鉄道事業	
都市間輸送と札幌圏の取り組み	36
観光列車の取り組み	38
業務運営の効率化～システムチェンジ	39
インバウンドに関する取り組み	41
CS向上に向けた取り組み	42
環境保全の取り組み	
鉄道の環境優位性	43
JR北海道グループ	45
各種データ	46
沿革	49
会社概要	50

JR北海道グループ
経 営 理 念

JR北海道グループは、

- お客様の安全を最優先に取り組みます。
- コンプライアンスの徹底をはじめ、
企業に求められる社会的責任を果たします。
- 安心してご利用いただけるサービスを提供し、
お客様満足の向上をめざします。
- 北海道に根ざす企業グループとして、
地域の発展に貢献します。
- 個人の創造力とチームワークを高める
企業風土を醸成し、社員の充実感の向上と
グループとしての成長をめざします。

私たちの誓い

- お客様の命を守ります。社員の命を守ります。
- 「安全第一、安定第二」
危ないと思ったらすぐに列車を止めます。
- JR北海道社員としての自覚を持って行動します。
社会のルールを守ります。会社のルールを守ります。
- 「お客様あつての私たち」 感謝を忘れず仕事をします。
- 「確かな技術力」 身につけ、磨き、伝えます。
- 「鉄道はチームワーク」
お互い声をかけ合い、進んで協力します。
- 「一人ひとりがJR北海道」 誇りを持って仕事をします。

表紙／函館線 銭函～朝里間

